

科学研究費助成事業（基盤研究（S））中間評価

課題番号	18H05295	研究期間	平成30(2018)年度 ～令和4(2022)年度
研究課題名	深部地下圏における根源有機物からの生物的メタン生成機構の解明	研究代表者 (所属・職) (令和2年3月現在)	鎌形 洋一 (産業技術総合研究所・生命工学 領域・招聘研究員)

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価		評価基準
	A+	想定を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、深部地下圏におけるメタンの成因を根源有機物の熱分解反応並びにその生成物を利用した生物学的メタン生成過程により全容解明することを目指している。</p> <p>これまで培った研究手法や実績をベースに、「高温高压反応生成物の同定」「生物圏の多様性と代謝特性の解析」「地下圏微生物の集積・分離・培養」「メタンの安定同位体比の測定」「芳香族メトキシ化合物の分解・メタン生成」の課題に取り組んでおり、これらのうち、門レベルの新規アーキアの純粋培養に成功し、公表された研究成果は高い評価が認められるなど、各課題とも予定どおりに順調な成果が得られている。今後も期待どおりの成果が見込まれる。</p>		